

事務事業名		取水・導水・浄水施設維持管理事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間																									
	施策名	良好な生活空間の創造																													
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和29 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		水道法				予算科目 会計 款 項 目 事業 水道 01 01 01																									
所属	部課名	水道事業所				事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～E以外)																									
	課長名	千葉 洋一																													
	係名	施設保安係	電話	0192-27-3111																											
	担当者	熊谷 健司	内線	178																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 水源、取水施設、導水管及び浄水に係る施設の維持管理を行う。 主な事業内容 ①施設の運転管理 ②施設の日常点検 ③機器、計装設備の修繕及び点検委託 ④原水、浄水の水質監視及び検査委託 ⑤各施設の滅菌装置への塩素補充 事業費は動力費、薬品費、委託料、修繕費等である。																															
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>								総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
		一般財源																													
	事業費計(A)	0																													
人件費	正規職員従事人数																														
	延べ業務時間																														
	人件費計(B)	0																													
トータルコスト(A)+(B)		0																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設点検回数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 管理業務委託件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 施設点検回数	日	イ 管理業務委託件数	件	ウ	
名称	単位										
ア 施設点検回数	日										
イ 管理業務委託件数	件										
ウ											
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
取水施設、導水施設、浄水施設の維持管理											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
前年度に同じ											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
取水施設、導水施設、浄水施設		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 取水施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>キ 導水管延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ク 浄水施設数</td> <td>施設</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 取水施設数	施設	キ 導水管延長	m	ク 浄水施設数	施設
名称	単位										
カ 取水施設数	施設										
キ 導水管延長	m										
ク 浄水施設数	施設										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
取水、導水及び浄水施設の機能が維持される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 電気・機器・計装設備の事故・故障件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 水質事故件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	サ 電気・機器・計装設備の事故・故障件数	件	シ 水質事故件数	件	ス	
名称	単位										
サ 電気・機器・計装設備の事故・故障件数	件										
シ 水質事故件数	件										
ス											
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
水質の良い水を安定して供給できる。											

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	52,959	24,830	26,114	30,000	30,000	30,000
			事業費計 (A)	千 円	52,959	24,830	26,114	30,000	30,000	30,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	900	824	848	900	900	900	
		人件費計 (B)	千 円	3,600	2,933	3,019	3,240	3,240	3,240	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	56,559	27,763	29,133	58,600	58,600	58,600	
⑤活動指標			ア	日	114	103	106	95	95	95
			イ	件	14	12	12	12	12	12
			ウ							
⑥対象指標			カ	施設	7	7	7	7	7	7
			キ	m	4,389.7	4,390	4390	4390	4390	4390
			ク	施設	6	6	6	6	6	6
⑦成果指標			サ	件	10	8	9	10	10	10
			シ	件	0	0	0	0	0	0
			ス							

事務事業ID	0309	事務事業名	取水・導水・浄水施設維持管理事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和29年4月、上水道の供用開始による。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

これまでの認可変更による拡張工事により、施設数が増加しており、また、新たに第4浄水場の整備に着手した。

機器の更新は計画的に実施しているものの、施設全体の老朽化が進んでいる。

既存水源の水量が、年々減少傾向にある。

水質検査項目が増え、水質基準が厳しくなっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

市民から、水質の良い水を安定して供給されることが求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	取水・導水・浄水処理機能を維持することで、水道利用者に対し、水質の良い水を安定して供給できる。その結果、快適な都市環境の維持と向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	水道事業は地方公営企業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	維持管理事業であり対象、意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	管理人が常駐する施設と他の各施設を電話回線などで結び、情報伝達できる装置の充実を図り、事故の未然防止に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	良質の水道水の安定供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	電気料金等固定した経費が大部分であるため、これ以上の費用の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	現状ではこれ以上の人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	安定した水を供給するためには適切な維持管理が必要不可欠であり、その維持管理費は水道料金に転嫁されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果	
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等			
対象施設の増加及び既存施設の老朽化が進行していることから、事故の未然防止に努めるとともに、計画的で効率的な整備、更新が必要である。			

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	良質な水道水の安定供給のために、不可欠な事業である。